

== 八戸聾学校 ==

# 学校だより

== 令和7年9月26日 ==

## 幼稚部

## おとまりかい



9月4日(木)と5日(金)、学校でお泊まり会を行いました。事前の学習では、「バスに乗るよ。」「お風呂に入るよ。」などとお話し、それぞれに期待感を膨らませていました。少しの緊張感も見え隠れしていた当日でしたが、先生たちの心配をよそに、子どもたちは大張り切りでした。バスでの移動もはっちの見学も、ラピアでの外食も、友達や先生との活動はどれもワクワクする活動のようで、笑顔でおしゃべりが止まらない子どもたちでした。

日が暮れるとともにママを思い出し気持ちが沈むかと思いましたが、「ママ」や「お家に帰りたい。」などと話す子は一人もいません。入浴も花火も楽しみ、ぐっすりと眠りにつきました。

家族から離れ、自分で準備や片付けを行ったり、友達と協力したりする経験は、自立を促し、協調性を養う機会となります。心がたくましく大きく成長した2日間となりました。



## 小学部

## 遠足

9月12日(金)に1～4年生は、盲学校4年生と合同で遠足に行ってきました。

三沢航空科学館では、様々な乗り物に乗ったり、体験活動をしたり、サイエンスショーを見たりしました。乗り物では、空気圧で上下する「プローブIV」に、2回も乗った児童がいるほど人気でした。その他にも「フライトシミュレーター」「パイロット入門」を楽しんだ児童、身長140cm以上が乗ることができる「ZERO グラビティ360」を体験できた児童もいました。

サイエンスショーでは「つめたい実験」で液体窒素を使った実験を見学しました。物質の変化に不思議な表情を見せていました。最後に液体窒素にお湯を入れて、吹き出したけむりに驚きの表情も見せていました。見学だけでなく、外の遊具で遊んだり、昼食後におやつ交換をしたりと、遠足を満喫することができました。







## 福地中学校との交流会

9月1日(月)に南部町立福地中学校との交流及び共同学習が行われました。今回は、福地中学校1学年の生徒、職員約40名を本校に招き、校内を案内したり、一緒にレクリエーション(風船バレー)をしました。福地中学校の生徒が聾学校について理解を深めるために、夏休み前から少しずつ準備を進めてきました。最初は、お互いに緊張する様子が見られていましたが、一緒に時間を過ごすうちに笑顔で会話をする場面も増え、楽しく活動することができました。あっという間の2時間でした。来年は私たちが福地中学校を訪問して交流を行います。



校舎案内で幼稚部の説明をする2人



福地中の生徒から質問に答えています

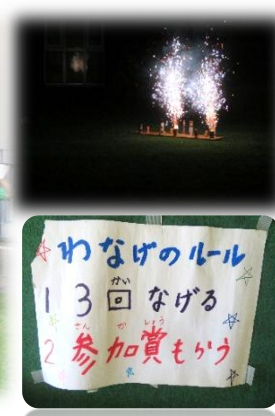
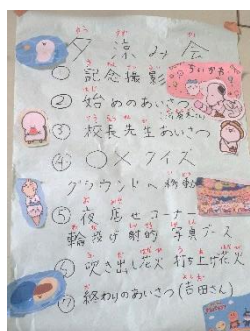


自己紹介や風船バレーをした3つのグループごとに記念写真を撮りました



7月18日(金)寄宿舍では、夏の行事、夕涼み会が開催されました。

本番に向けてポスターやプログラム作り、司会の練習もバッチリ!「いよいよ、本番だ〜!!」と思ったら、なんとあいにくの雨模様・・・それでも、体育館下の駐車場を会場に、「〇×クイズ」、「射的」に「輪投げ」、最後は大型の打ち上げ花火を打ち上げ、舎生・職員一体となってとても盛り上がった夕涼み会となりました。来年はどんな夕涼み会になるのか、楽しみです!





## 避難訓練



9月2日(火)、河川氾濫を想定した避難訓練を行いました。河川氾濫警戒情報が発令された場合は、全員が3階へ垂直避難するという訓練でした。非常物資の運搬などもあり、3階に避難した後の待機時間が長く感じましたが、落ち着いて行動することができました。ご家庭でも、災害時の行動や避難先、非常用持出袋などについてお子様と一緒に確認してみてください。

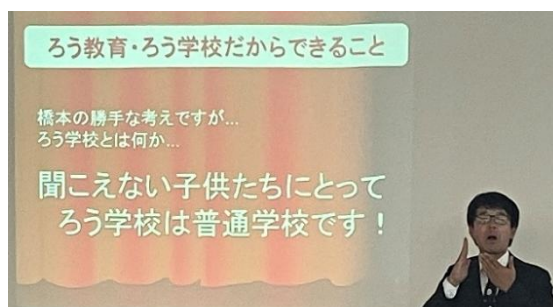


【いじめアンケート】6月に実施したいじめアンケートのご協力ありがとうございました。アンケート内容をもとに、7月にいじめ防止委員会を実施した結果、今回はいじめ案件はなかったことをご報告いたします。これからも何か気付いたことがありましたら、すぐにお知らせくださるようお願いいたします。



## 東北地区聾学校 PTA 連合会

明るく楽しく、勢いのある講演会で、あっという間に時間が過ぎました。聞こえない・聞こえにくい子ども達の育て方を学び、親として子どもの気持ちに寄り添い、理解する姿勢の大切さにを実感しました。これからも、子どもの成長を支えられるよう、日々関わりを大切にしていきたいです。(小学部保護者)



東北地区聾学校 PTA 連合会では、講演やディスカッションを通じて他の保護者や教育関係者との交流が深まり、貴重な意見交換ができました。これからも子ども達のために、地域全体で協力していきたいと思います。(中学部保護者)